

1 品目団体の法制化

- オールジャパンで輸出先国・地域のニーズ調査やブランディング等に取り組み、市場の開拓等を行う法人を、申請に基づき認定する仕組みを創設

2 輸出事業計画の支援策の拡充

- 輸出事業計画の記載事項として、輸出事業に必要な施設の整備に関する事項を追加
- 輸出事業計画の認定を受けた者に対する日本政策金融公庫の業務の特例として、輸出事業に必要な資金の貸付けを措置（資金使途の追加、償還期限の延長）
※ 輸出事業計画に基づき行う施設等の整備に対する税制上（所得税・法人税）の特例を新設

3 民間検査機関による輸出証明書の発行

- 国の登録を受けた民間検査機関が輸出証明書の発行を行える仕組みを創設

4 有機JAS制度の改善（JAS法改正）

- JAS法を改正し、JAS規格の対象に有機酒類を追加
- その他輸出促進に必要な事項を措置

5 施行日

- 令和4年10月1日

全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会(全米輸)の概要

- コメ・コメ関連食品の海外需要の開拓・拡大のため、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸））を平成27年8月13日に設立。
- 全米輸には米卸・輸出事業者のほか、産地側である全農・ホクレン等も会員として参加。これまで、海外見本市への出展、PRイベントの開催や輸出先国の規制・マーケット情報の収集・発信、広報素材の作成等に取り組んできたところ。
- 今後、輸出拡大実行戦略を踏まえたコメ・コメ加工品の品目団体として、会員向けサービスの強化・会員数の増加・新興市場でのプロモーション等を通じた海外市場の開拓・自主財源の増加等を図っていく必要。

団体名	一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（略称：全米輸）	
設立日	平成27年8月13日	
目的	コメ・コメ関連食品の海外需要の開拓・拡大のため、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する。	
会員数 (2023年7月7日現在) (賛助会員含む)	合計80	コメ輸出事業者、生産者団体等：42（クボタ、全農、神明、木徳神糧、千田みずほ、ホクレン等） 蔵元等：15 米菓メーカー等：7 パックご飯メーカー等：9 米粉メーカー等：9 その他：8（食品機器メーカー、外食事業者等）
理事	理事長	木村 良（木徳神糧(株)取締役相談役、全米販理事長）
	専務理事	細田 浩之（元三井物産(株)）
	理事	陰山 貞三（千田みずほ(株)取締役執行役員 営業本部長兼海外事業部長）
		山田 智基（木徳神糧(株) 取締役執行役員 営業本部海外事業統括）
		松永 将義（白鶴酒造(株) 執行役員 海外事業部長）
		舩木 秀邦（(株)神明 執行役員 海外事業本部 本部長）
		原川 竜也（全国農業協同組合連合会 輸出対策部長）

品目団体による輸出促進のための取組について

- 品目団体の認定制度は、輸出促進法に基づき、輸出重点品目ごとに、**生産から販売に至る関係者が連携し輸出の促進を図る法人**を、その申請に基づき、**所管大臣が認定品目団体として認定するもの**。
- コメ・コメ加工品の輸出においては、これまで**全米輸がオールジャパンでの需要開拓等を担ってきたところ**。
- 令和4年12月5日付けで全米輸が輸出重点品目である「**コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品**」の**認定品目団体として認定**。
- 全米輸では、引き続き、コメ・コメ加工品の輸出拡大に向け、**オールジャパンでの需要開拓や現地ニーズの把握、会員数の増加による自己財源の確保等**を行っていく考え。



認定品目団体
認定式の様子



品目団体の法認定要件

- **生産から販売に至る事業者が構成員に含まれ、業界の輸出関係者全体を代表して取組を実施できる体制**を有している。
- 輸出促進業務を実施するために必要な**自己財源の確保に向けた方針**を有している。
- 輸出先国における**オールジャパンでの需要の開拓等の業務**を行う。

全米輸における取組

- 全米輸には、米卸・輸出事業者のほか、産地である全農・ホクレン等が会員として参加。プロモーション事業の開催や輸出先国・地域別の情報発信等を実施。
- また、
 - ① **会費水準を見直し（引き下げ）、会員数の増加に努めるとともに、事業参加負担金の徴収による自己財源の確保**
 - ・ 正会員の年会費を30→15万円に引き下げ
 - ・ 1事業参加毎に事業費の2%（上限20万円）を参加負担金として徴収
 - ・ 事業に参加しない産地及び事業者等向けに賛助会員制度（年会費3万円）を導入
 - ② 会員サービスの強化（**専門家の活用**による相談対応、情報発信等）
 - ③ 会員ニーズに沿った事業の企画を図る。
- 全米輸において日本産コメ・コメ加工品の輸出促進のため、
 - ① **統一ロゴマークを作成、プロモーション等において活用**
 - ② **日本産米の品質面の優位性に関する調査・分析**を実施。
- また、効率的な輸出に向けて、物流面・規格等についての会員間での意見交換等を実施。
(スマート・オコメ・チェーンについても積極的に関与)

